平成26年	=度事務事業評	呼価シート	該当事業(	評価対象外事業は基 公共建設事業	
事務	§事業名	松くい虫防	除事業		•
予	算科目	6 款	2項 2目		
総合計画	での位置付け	産業の振興  林業の振興	マモリもり元気な も	こしごとづくり~	
	京課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線	): 579
記入	者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	福積 和富
事業	美の性格 おんしゅう	法定事務	ξ,		
	施期間	【開始年度】	平成 17 年度	【開始年度】設定なし	,
事業	美の対象 おおり かんしゅう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしょう かんしょう しゅうしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう しゅうしゃ しゅう	松くい虫防	除事業関係者		
根拠法令等	森林病害虫等防除法				
事業の目的	森林病害虫等防除法 保全を図る。	こ基づき、森林	病害虫を早期に駆除	することで、その蔓延を防	止し高度公益機能森林の
事業の内容	高度公益機能森林を対	対象に、松くい <u>s</u>	虫防除薬剤の空中散	布を実施し被害の防止と柔	条林の保全を図る。
改善策の 具体的 取り組み (当初)					
改善策の 具体的 取り組み					

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
	直接事業費	8,083	10,141	5,395	5,395
事業費	人件費	1,789	1,749	874	1,749
	合計	0	11,890	6,269	7,144
	人工数	0.22	0.22	0.11	0.22
人件費	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,789	1,749	874	1,749
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,872	11,890	6,269	7,144

	事業活	請動の実績(活動	カ指標)		
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
薬剤空中散布事業	ha	150	150	150	150

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
任由	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
十段	9,400	8,900	8,400	0	0	26,700

		成果指標		
成果指標	当該年度の松くい虫防除薬 値)×100	《 <b>剤空中散布区域面積/昨</b> 4	<b>拝度の松くい虫防除薬剤空</b> ・	中散布区域面積(目標数
指標設定の 考え方	県等調査に基づく区域面積	『を測定し、減少することによ	り効果を測る。	
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	100%以下	100%以下	0	0
実績	86%	100%	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性 4		
	妥当性	市民ニーズへの対応	3	В
		市の関与の妥当性	3	
自己評価	事業の効果	3		
	(担当責任者) 有効性 成条向上の可能性 4 B   施策への貢献度 3   手段の最適性 3		4	В
(担当具任任)				
	効率性	コスト効率	3	С
		受益者負担の適正		
課題認識	空中散布の施行 <b>面積</b> る。	を、関係機関と調整を行い、散布面積については検討し	ながら実施す	る必要があ

		一次評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	3	В
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	4	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	3	В
(別馬文)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	4	
	高度公益機能森林と	しての松林を守るための事業として当事業は不可欠であ	あり、事業実施	面積につい

高度公益機能森林としての松林を守るための事業として当事業は不可欠であり、事業実施面積については、被害森林面積を適正に把握し、必要に応じて見直しを図る必要がある。事業実施にあたっては、健康被害を防ぐため、薬剤散布区域は民家から200メートル以上離して散布するなど安全対策の徹底に努める必要がある。

## 課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	